

総合分析

試験区分 一般（後期）

制限時間 90分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.7	高度な計算をやり遂げる力
解析力	4.1	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.9	解くことに必要な知識の量
初手力	3.9	初手の難しさ
見極力	4.5	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	0%
数学 A	13%
数学 II	21%
数学 B	16%
数学 III	36%
数学 C	14%

本年度 解答形式	
論述	78%
答...	

本年度出題テーマ一覧	
第1問	確率
第2問	立体の体積と無限級数
第3問	線分の通過領域
第4問	複素数平面と区分求積法



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価					
難度	4.1	最難を5とする問題自体の難度	難しい	一次合格に必要な正答率（予想）	51%
分量	120分	完答に要する時間（制限時間は90分）	多い	正答率をさほど要さない	

入試の特徴と対策
 ▶ 様々な分野の知識が必要である。単元ごとの学習に満足しないこと。

入試から見る大学が求める学生像
 非常に負荷の高いセットであった。他大学においては少ない単元で解ける問題が大多数を占める中、様々な分野の融合問題があり、多角的な学習をしていないと合格点をとることは厳しいだろう。
 分野別の学習をするだけでなく、様々な分野にまたがった知識の運用ができる学生を求めていると考えられる。